

☆わたしの意見

これからの アジアと日本

竹田 剛 男

〈関西貿易株式会社
代表取締役副社長〉



日本とアジアは当然のことながら、長い歴史を通じていろいろな面できつてもきれない関係にあります。

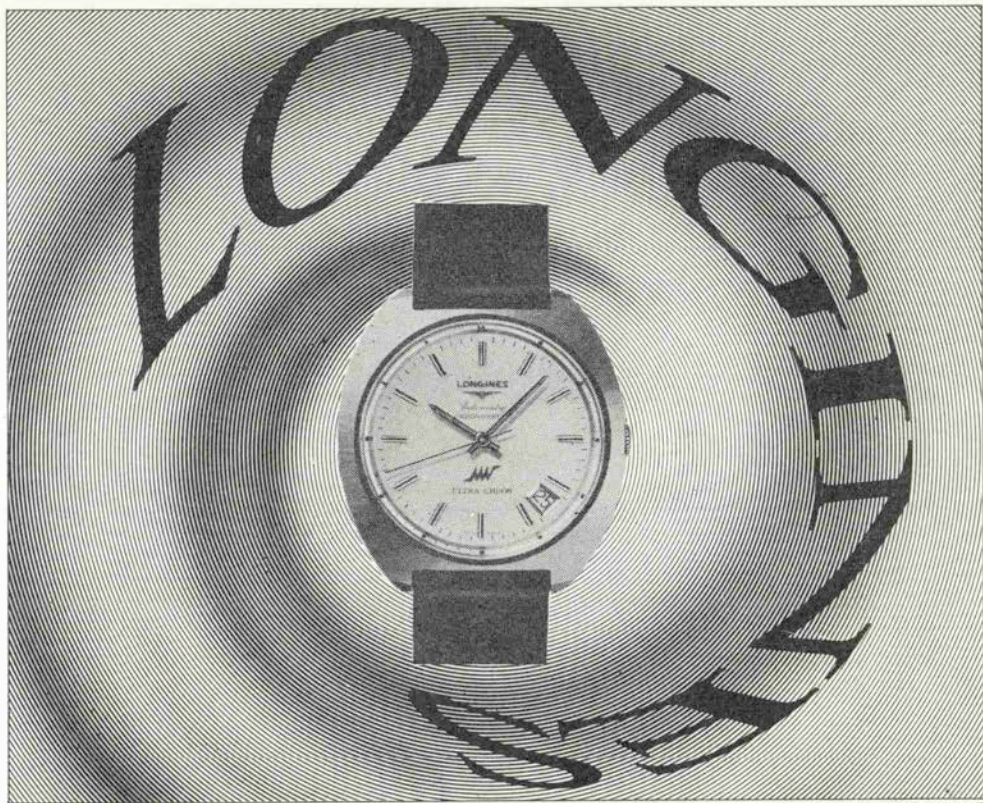
現在の日本と東南アジアとの関係を経済的な面からみてみますと、貿易に関しては一方的な出超、すなわち日本から東南アジア方面への輸出が圧倒的に多く、東南アジアからの輸入量は輸出量に比べてはるかに少ないのが現状です。この一つの理由として、日本が東南アジアから必需品として輸入すべきものが東南アジアには少ないということがあげられます。そこで考えられることは、日本が東南アジアの開発途上国に資金の貸付けや技術指導をして現地の生産性を高め、日本が買えるようなものをつくるように援助、協力することが一つの方法です。

現在、東南アジアにはあらゆる種類の日本製品が氾濫しあたかも日本がアジアの市場を独占しているかのような感もあり、それがエコノミック・アニマルという代名詞でよばれ、一部では彼らの反感をかってもいるようです。しかし日本は又外からみれば大変大きな消費国でもあるわけですから、東南アジア諸国にとって大きな市場ともなりますので、日本へ輸出できるようなものを生産し、日本も東南アジアからいいものをうんと輸入し、共存共栄できるようにしたいものです。これは仲々難しいことかもしれませんが、これからの日本はもはや自国の利益だけを追求していたのでは経済の発展は望めないでしょう。もっと広く国際的な立場から日本をながめることが何よりも大切で、東南アジアを豊かな国にすること、それがひいては、長い目でみて付加価値として日本の利益にもなるわけです。

数年後にポートアイランド沖に関西新国際空港ができれば、神戸とアジアの距離はより一層近くなり、人的、物的交流も増々盛んになるでしょう。こういう大きな立場から考えても、アジアの諸国から日本に求められる人達を暖かく迎え、できるだけ多くのものを吸収し、真の日本の良さを理解してもらうよう努力することは私達一人一人の責任といってもいいと思います。

最高のものを厳選する人に

ロンジン



ウルトラクロン・クロノメーター ステンレス鋼度付 (No.8355) 105,000円

スイスの伝統にはぐくまれた
アートの感覚と最新のメカニ
ズムが、この斬新なデザイン
を生みだしました。

世界のエリートに信頼され、

最高のものを厳選する人々
に愛用されてきました。現代
を生きるあなたにふさわしい
時計を、ロンジンの中から
お選びください。



LONGINES

特約店



美田時計店

元町店・元町三丁目 TEL.33-1798

三宮店・さんちがファンシー・タウン TEL.33-8798

父の赴任について神戸に来てもう三年たちます。

神戸は海あり、山あり、外人にとって住みやすい街。冬、スキーに行きたいなと思ったら、すぐ後が山、夏、泳ぎたいなと思ったら近くに海があるし、快適です。

東京にも三度ほど行ったことがあります。神戸の人は東京の人よりずっとフレンドリー。東京は時間なんかもすごく正確で、全

い。



この前の万国博では、チリ館のホステスをしました。他の国、それもまだ余りよく知られていない国のことが知れたかったから。そして、日本のお百姓さんやビジネスマンや主婦やいろんな階級の人と話がしたかったからです。

日本語は六カ月勉強しましたけれど、最初は、地方出身の人のア

●随想三題

ホーム

フィーリング

神戸

ミナ・ガットゲ

△インド・聖ミカエル国際学校・英語教師△



てにおいて実用主義。でもそれが人間性を失っているように思えてなりません。

東京をタウン・フィーリングの感覚とすれば、神戸はホーム・フィーリング。インドはホリデイのフィーリング。神戸は東京に比べると、ファッションなどでは一歩遅れるけれど、人間の優しさに神戸の良さがあるように思います。ことに神戸の女性はとっても優し

クセントが違うので、わかりにくくて困りました。大阪弁と神戸弁でも非常に違います。大阪の人はRの音が多く聞えます。

何故、チリ館に勤めているか聞いて、インドの事を聞いて、それから日本の事、日本人についてどう思うか……。大体質問は決っていました。

でも話をしたのは学生が殆んどで、学生と話すのはとても面白か

った。アイディアがとて人漸新で、政治とかヒッピーとか人種差別とかについて話しました。

よく勉強していると一番最初に感じました。そして外国の生活を非常に知たがっていました。ただ余りディスカッションに慣れていないので、一つの物事を他の方面から眺めないような所も見受けられました。でもそれは、言葉の不自由さのためかもしれません。

私は外へ出るのより、お家で静かに、ウエスタンや日本の歌謡曲を聞きながら、本を読んだりしている方が好き。洋服も自分でデザインして創ります。ただ日本の生地は高いので本国から送ってもらいます。ウィーク・エンドには六甲山へ行ったり、京都にもよく行きます。今は奈良のティー・ガーデンが見たい。神戸は、京都、奈良にも近くて便利ですね。

日本はアメリカからいろんなものを学んで、非常にモダンになったけれど、インドは一五〇年間もイギリスの支配下にありながら、インド独自の古い良き文化を受け継いでいます。

神戸も、東京や大阪のようにビルの乱立する街にならぬよう、神戸アートモスフィアを大切にしたいってほしいと思います。

それが私の好きな街、神戸へのお願いです。

日本に來たのは今回で四度目、約一カ月の短い期間ながら朝八時十分に神戸住吉の寮を出て、大阪高槻の住友化学地方研究所に九時二〇分に入る。帰りはその逆とハンで押したような生活ぶり。

でも二年前に來た時と比べて、若い人の生活がよりデモクラティックになったことを感じました。實用主義の影響が非常に強く、行動にも現われてきて、昔みたいに

日本を急速に發展させた底力になっっているんじゃないでしょうか。韓国も数年内に急速な経済的安定がもたらされると、同じ職場に長くいられるようになるかもしれない。もつとも北方騎馬民族系の韓国人には職場を變えることがアン・モラルだという感じ方はありません。そのせいででしょうか。

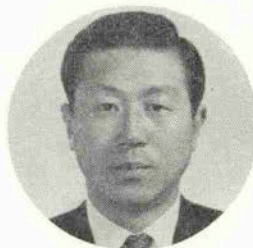
◇ 住吉寮では純日本式の生活をし

● 随想三題

眠れなかった 日本の夜

白 南哲

△ 韓国の慶熙大学校副教授 △



規律ばったところがありません。

私のおりました住友化学地方研究所でも、上の人、下の人が和やかに、冗談をいいあったり、生活がほがらかですね。

それと日本に來て不思議なのは一つの職場に二〇年も三〇年も勤めて、職場を移り変わらないことです。韓国では二、三年で変わっていきます。考えてみると、一生一つの仕事をする——それが戦後の

ていました。

十畳の畳の部屋で、帰ったらすぐ風呂に入って、ドテラを着て、食事日本食です。韓国では、温突（ダンタ）といって、石の床の上に紙を敷いて、床の下から暖めてその上に寝ます。それと比べると、ちょっと、寒かったのですけれど、私はどちらかといえば暑がりの方ですから不自由ありませんでした。

困ったのは日本茶です。韓国で

はお茶は余り飲みません。住吉寮では朝食の時に茶、会社へ着くとお茶、お昼にも、また何かというとお茶を持って来てくれます。そして寮に帰ってTVをみてる

と、又気をきかしてくれてお茶お茶お茶。コーヒー一杯も飲まないのにどうして眠れないのか、と思ったら、お茶が原因なんです。日本人はお茶に免疫が出来てるけれど、水のようなつもりで飲んだら大変です。

◇ 神戸は西洋文化の発祥地という雰囲気はどこなにあります。先にいいましたように、仕事オンリで殆ど出歩かなかったのですけれど、会社の女子社員は「神戸はいい」といいます。「どうして？」と聞くと、「ステキがいいし……」「それから？」、後はどうしてか笑ってばかりで話しません。どうやら食気より色気の方で何か良いことがあるようでした。

一度日本酒をおでんで飲みました。コップが錫で造ってあるのが変わっていて面白かった。でもローマ帝国時代、鉛のコップでブドウ酒を飲んだ。その結果、鉛毒で早死したのが滅亡の原因ではないか……なんて話を思い出したりして、しかし、おでんと酒は二つがとも合って、忘れられないおいしさです。

私は昨年暮、マレーシアのシンガポールから神戸にきたばかりで現在、神戸YMCAで日本語を習うかたわら、六甲道と池田市で日本人のみなさんに地理と歴史を教えています。

日本の子供たちは大変理解が早いので教えるのが楽しみです、私のおぼえたての片言の日本語で話かけるととても喜んでくれるので、毎日子供たちに会えるの

●随想三題

楽しい

日本の生活

ウ・マ・デビ

△マレーシアの英語教師▽



における一番重要度の高い公用語の一つですので、英語教育はすべての学校で行なわれ、マレーシア人の多くは英語を理解できます。日本には「日本語」という一つの言語しかありませんが、多民族国家であるマレーシアには①英語、②マレー語、③中国語、④タミル語の四つの言葉があり、それがまたいろいろな問題を複雑にもしています。

が嬉しいのです。

マレーシアの教育システムは日本のそれとは若干違い、六才で幼稚園、七才と十二才が小学校、十三才と十六才が中学校、十七才と十九才が高等学校、二十才と二十三才が大学となっています。



私はシンガポールの東南アジアユニオンカレッジで英文学を専攻したのですが、英語はマレーシア

外国から日本にきた人は、日本語が大変むずかしいとよくいいますが私は別にそうは思いません。

というのも、実は私の兄も九カ月前に日本にきたばかりなのですが、もう日本語をかなり流暢に話すことができるからです。ですから私は、日本語は、文字はともかく話し言葉としてはそれほど特別にむずかしいものとは思えないのです。

◇
日本は戦後急速な経済成長をとげ、すばらしい工業国に発展しましたので実は私も驚いていたのですが、日本に来て日本人の働きっぷりを見ていると、なるほどとうなずきました。本当に日本人は働きすぎと思うほどよく働きます。

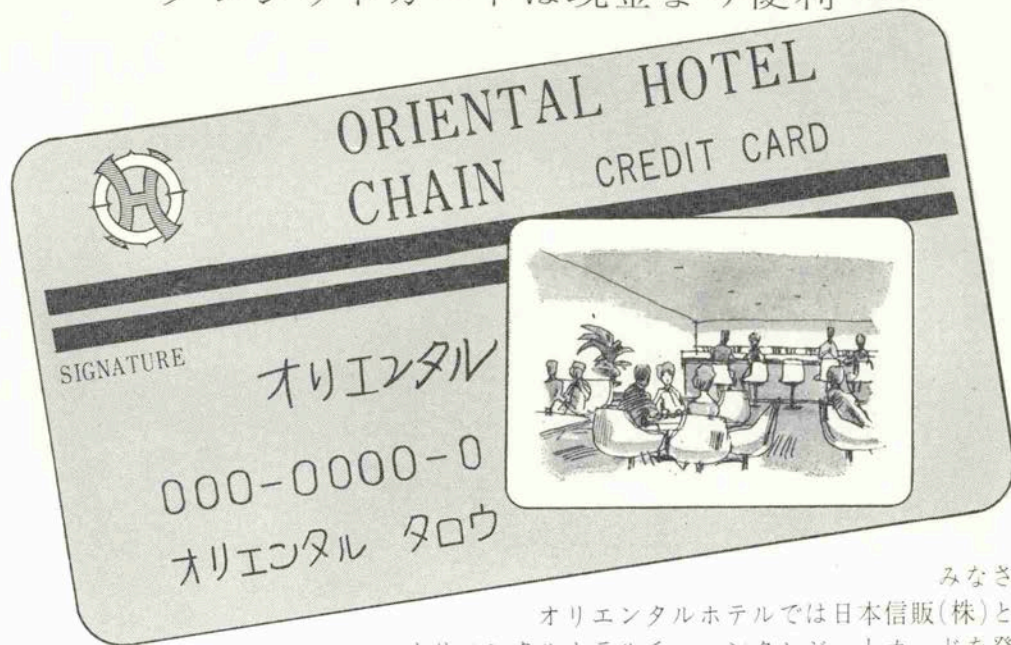
私はまだ日本にきて間がないのですが、困ったことといえば日本の冬の大変寒いことです。マレーシアには四季がなく、一年中平均気温華氏八〇度ぐらいの暑い夏だけなので、この冬は私にとってはじめての冬でしたので、この寒さはかなり身体にこたえました。

それと、慣れないうちは日本のお金の数え方にちよつとまどいしましたがそれもすぐ慣れましたし食べ物に関しても全然困ったことはありません。今や日本のウドンやテンブラ、それにお茶は私の一番好きな食べものの一つになりました。

私は以前、タイプや速記も練習し、その資格ももっていますのでマレーシアに帰りましたら、この技術と日本で学んだことを十分生かして、いい仕事をしたと思っています。

クレジットカードを大切に！

クレジットカードは現金より便利……



みなさまの
オリエンタルホテルでは日本信販(株)と提携
オリエンタルホテルチェーンクレジットカードを発行！

お泊りから喫茶まで…快適なホテルライフが楽しめる
価値あるカードです

●お申込み、お問合せは

オリエンタルホテルクレジット係
日本信販 神戸支店

TEL (078)39-4305

TEL (078)34-6501

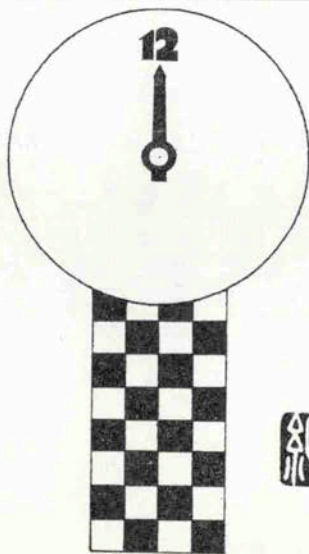
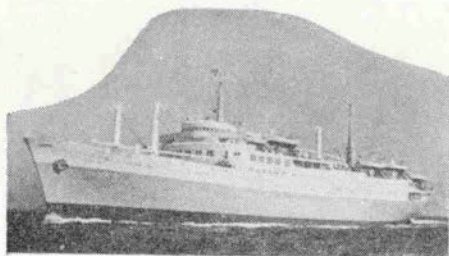
□連載ずいそう1

天体画の記憶

神戸ものがたり

稲垣 足穂

え・河野 通紀



私は「汽車」というロケットに乗って、初めて神戸三ノ宮駅に上陸した。

自分は大阪船場（北久宝寺町）の生まれだが、祖父母が明石に住んでいた関係で、たびたび神戸を通過していた。三ノ宮駅を西に向かって発車すると、間もなく右側に、巨きな白塗り丸いカゴをてっぺんにくっつけた格子塔が近づいてくる。即

ちタイムボールで、正午になると、あの玉が垂直に落ちて港内の碇泊船に時刻を知らせるのだと判ったのは、もう関西学院中学部にいた時である。この玉付きヤグラは、自分にとって「最初のオブジェモビル」であった。

タイムボールは半日の旅の道標でもあった。何故なら、奇妙な塔が見え出すと、明石はもう程近

いのだから。汽車が神戸駅に停ると、駅名を書いた札が不思議に思われた、その二字は、アマテラス大神がきげんをそこねて隠れてしまった岩戸を連想させた。その「神の戸」を、何故コーベと読むのであろうか？

ついで湊川新開地、楠公社境内の水族館、背山のイカリのマーク、笠戸丸見学（これは元バルチック艦隊所属の病院船だったそうである）等々があつて、いよいよ神戸市への正規の上陸は、大正三年三月、関西学院中学部へ入学願書を出しに行った日のことである。

三ノ宮駅は今日の元町駅で、あそこはちょっとした高台になつてゐるから、当時は南口を出ると東と西へのだらだら坂になつてゐた。神戸の知識は、東は三ノ宮駅を通る南北線、西方では兵庫駅を通過する子午線どまりだったので、不案内は東郊の関西学院めざして、阪神電車が利用されたわけである。その終点は滝道であつた。電車を降りて山の方へ長い坂を登つて行くと、左手に原田ノ森が迫つてきたから、母と私は「岩屋駅」に降りたことになる。自分の頭の中は、先刻三ノ宮駅を降りてすぐ目にとめた、驚くべきものの一ことで一杯であつた。

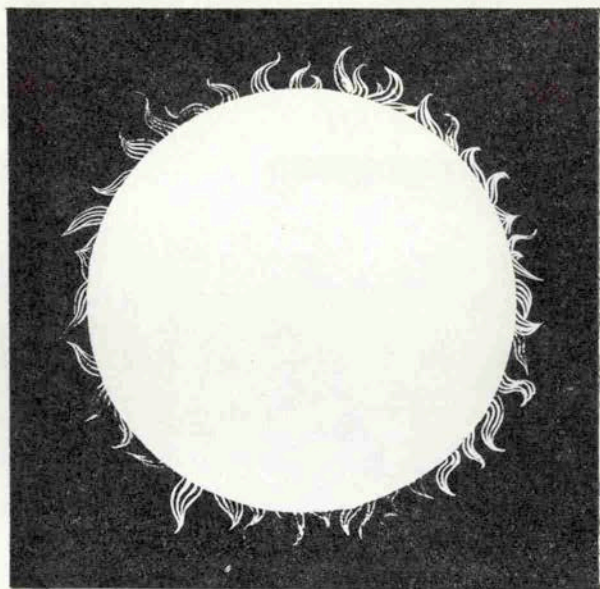
三ノ宮駅南口の坂を東へ下つた所の右側に、洋菓子店があつた。入口だけの改造だったが、赤屋根付きの洋風建物だったかは忘れてゐるが、ともかくハイカラーな店であつた。私が中学部二年になつた春に、ある日の帰りに級友が今の店で新発売のミルクキャラメルを買つて、その中の一箇を私にくれたのである。兵庫駅を出た汽車がひろびろした野に出るなり、私は車窓から首を突き出し

片頬を春風に打たせながら、ポケットから小さなキャラメルを取り出してパラピン紙を剥いだ。青リボンを伸べた海の手前にライシングサン石油のタンクが銀色に光つてゐるのを眺めながら、口の中へほうりこんだ。森永キャラメルは十銭か七銭であつた筈だが、まだなかなかミルク臭い、西洋菓子の仲間であつた。

——このキャンディストアの前を、母と連れ立つて通り抜けながら、私は薄暗い内部の、向つて右側の壁面に、美しい色刷りの広告画が懸つてゐるのを目にとめた。

それは、赤い円錐帽をかむり、緑色の長いガウンをつけた天文学者のおじいさんが、バルコニーに望遠鏡の三脚架を立てて、谿谷の向うの岩山の上に照つてゐるニコニコ顔のお日様を覗いてゐる所であつた。太陽といつても、普通の画で見かける青空をバックにしたそれではない。いったいお日様が、他の星や月やホウキ星に較べて、何か野暮つたらしいのは青ぞらのせいだと私は思つてゐた、いったん青空と雲を取りのけて、太陽を真黒な空のまんなかになに置いたならば、素敵な天体に変するだろう。そんな黒い天に出てゐる太陽で、そのふちはコロナの翼で飾られ、黒い地には白い横文字が数行並んでゐた。

これは、針葉樹に囲まれた湖水が前景にあつて向うの峻しい山の上に、左向きの即ち明方の三日月が出てゐるステットラー鉛筆の広告画と同格でないか。又、山間のお城が見える広場で、背中に吹き流しを付けた二人の騎士が、装甲馬に跨つて相闘つてゐる、カスチール鉛筆のポスターにだって引けを取らない。しかも天文博士と望遠鏡が参



加しているのだから、三種の広告画の随一かも知れなかった。

大正も十四年頃、東京に移っていた私は思い出して、三ノ宮駅下の洋菓子店へ、「以前、お宅の壁に懸っていた太陽の画は、何というお菓子の広告でしたか」と問い合わせの手紙を書いた。「三ノ宮駅南口洋菓子店御中」としたのであるが、勿論返事はなかった。実はその店がまだあるのかどうかも自分は知らなかった。それに、あの石版刷はたった一度見たにすぎないことにも、私は気付いたのである。

あの日、母と私は、長い坂道が上筒井の通りと



交叉する所の右側にあった、「各学校御用達」の札が出ている裁縫店で、関西学院をたづねたのであるが、奥から立ち現われた若い女の人の白い丸顔が、とたんに綻びて、まあ！ ということになった、それは私の姉の清水谷女学校時代の級友だったのである。(姉は自分よりも十以上の年上であった)

彼女はすぐそこに見えるのが関西学院の正門で、反対方向にまっすぐに行くと市電熊内終点があると教えてくれた。このために帰するには、各種のパンから発散するものと、ビスケット、ボンボン、ドロップス、マシマロウ、スガー等々の香りが入りまじった店の前は通らなかつたのであるやがて私は三ノ宮駅南口から通学の汽車に乗るようになった。その次の春には友だちがそこでミルクキャラメルを買ったにも拘らず、自分はある絵に注意しようとしたことなんか一向に思い出せないのである。天文学者の緑衣の一つ一つのひだに面白い陰影を織り出していたお日様はどこへ行ったのか？ 今日では月旅行をすれば、「真黒いバックにひっかかっている太陽」にお目にかかることができる、しかし、それは眩しくて到底正視にたえないであらう。

△ 作家 V

□^ズいそう

フラメンコの

ばらと汗

鴨居 羊子

私のオフィスの近くにフラメンコばかりおどる所タブラオ・マドリッドがある。

ある日吸いこまれるようにその地下にある穴倉のようなタブラオへいつてみた。暗く四角く区切られた部屋はばらの天井と壁におおわれ、田舎の芝居小屋より小さい舞台に、毒々しいまでの原色のスカートのひだをけちらしてジブシーたちがおどっていた。その怒気にも似た足音、女の執念にも似た長く裾びくスカートのひだ、興奮をせきたてるようなカスターネット、そしてうら悲しくはげしいギターと歌。



踊るサラ・レサーナ

地上とは全く異った暗いあでやかな別世界が、この穴倉にムンムンとこもっていた。私はひきずりこまれるように毎晩この穴倉へ入りこみ、ある日「踊り子になろう」と決心した。そして習いだした。大分たって、一週間だけ舞台へ立たしてもらうことになった。赤い水玉の木綿のフラメンコドレス。後にずらりと並んだジブシーたちのオーレの掛け声と共に、おどりだしたとたん、何と靴が片方、ホームランのようにお客の頭をとりこえて、カウンターのもう少しでナベの中へ入りそうに飛んでいった。半泣きのままお客がもってきて

くれた靴をはき直し、それでも決してジブシーは曲を止めないため、チグハグのままおどりつづけた。でもスゴスゴと私は舞台をあきらめた。カルメンが「ワタシもよくクツトバス」となぐさめてくれた。

一年のちにサラ・レサーナとその師匠のミゲール・サンドバルが每晚、この舞台に花を咲かせた。私はまた涙をながし、熱狂し、オーレーを連発する日々をすごし、またもや、ミゲールに本式に習うことにした。といっても、こんな名人はどんな教え方をするのか興味をもったためもある。ところが、こちらが素人であろうが、彼は全くおかまいなしの徹底的なスパルタ訓練がそれも毎日一時間、ムチと共に行われた。私が太っているため三十分は床の上にてレスリングもどきの基礎体操もある。おかげで三カ月で十キロも減った。

もちろん私はプロの踊り手になるわけでもないが、この教え方を通じて彼らの生活姿勢、自らおどることでフラメンコの底にあるものを知ろうとした。この私に対して彼はサデイスティックなまでのムチ、徹底、くり返し、正確さ、叱咤で向ってきた。全身汗まみれ、死にそうな息づかいの私はこの師匠はサデイストだ、サデイストだとくり返しながら、靴をガタガタとめちやめちやに床をふみつける。ミゲールは舞台では、まるでコマの芯か、らせん状のねじ釘のように十回もの驚くべきビルエットを空中に描いてみせる名人だ。そんな彼が初歩の私の足順をゆつくりと手をとって横でおどってくれるのを、何とまあもったいないなあ——と呆然とみとれていると、「ナニ、ナニ、ボンヤリしないで、もっとつよく——、もっとゆつ

くり、三カ月あとではやく、忘れないように！」とたちまちどなられる始末。

人間が人間を心からドナリ得る自信。このような二つの自我の相剋の重さを、私はあらためてフラメンコから教えられた。

レッスン中の私のかつこうはみられたものではない。洗濯屋のビニールの袋が何かを脚やお腹にぐるぐるまき、分厚いタイツとズボン、分厚いシャツ二枚で、全身ムシ風呂どころではない。しかし、一日じゅう体をうごかさずに仕事に忙しい私にとって、一日一時間の肉体の酷使と汗と自分へのムチ、緊張は、絶対といていいほど必要だ。いつの日か、みにくいあひるの子がつばさのそろった大人の鳥になるように、私は汗の練習衣から裾長い本格的なフラメンコ衣装を身にまとい、カスタネットと大きなセンスをもち、ばらをかざして、情熱のあらん限りをおどりに完全にたくすことができるのだろうか。お供にギターを抱えた少年のジブシーをしたがえ、私の靴音と彼の靴音。そして私のスカートと彼の空中を舞うギターがからみ合い、その音色と歌につつまれて、私はおどる狂うことだろう。

／フアッション・デザイナー／



鴨居羊子さん

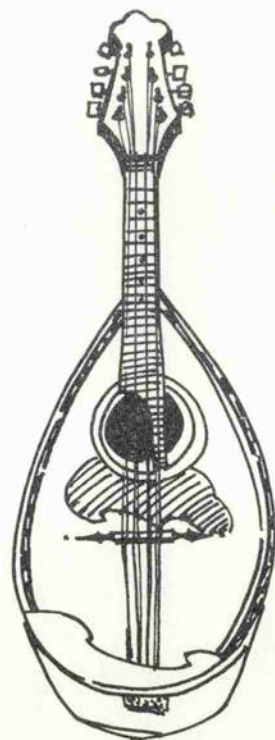
□^どすいそ

音楽は

心のきずな

モース・斉藤

え・中島 節子



S. NAKAJIMA

ポピュラー音楽は世界中どこでも愛され、音楽には国境というものがありません。

特に神戸には神戸独特の音楽というものはなく、神戸にいと世界中のどんな音楽でも楽しむことができます。というのも「神戸っ子」は他どの都市の市民よりも国際的な感覚をもっているからでしょう。

神戸にはいろんな国のいろんな異った人達が住んでおり、それぞれ一人一人の考え方、感じ方も違いますので神戸の音楽の層はなかなか幅広く、バツハからバカラックにいたるまで種々様々の音楽が愛されています。

それは私が担当している「ミュージック・アラウンド・ザ・ワールド」にくるリクエストをみてもわかります。この番組に対するリクエストは毎月一五〇〇通から二〇〇〇通、多い時には三〇〇〇通にもなることがあります。その中でも神戸からの葉書がいつも一番多いのをみても神戸の人の音楽の幅広さがうかがえます。

しかし逆にいえば、神戸は音楽の幅が大変広いということは、一体どこにポイントをおいたら神戸の人に一番喜んでもらえるのかがつかぬ、それがディレクターにとっては頭痛の種にもなっているようです。

もう一つこの番組にくるリクエストでおもしろいのはリクエストして下さる方の七十五パーセント、多い時には八十パーセントが男性だということです。

この一つの理由として、現在FM大阪はアンテナを立てないと聴こえませんので、アンテナをわざととりつけて聴くのは男性だからだと私は思うのですが、いかがでしょうか。

しかし五月からFM大阪も六甲山から中継放送されるようになりますので、そうなればアンテナがなくても聴こえますから、もっと多くの人がこの番組を楽しみ、神戸からのリクエストもより多くなることと思います。

今までの「ミュージック・アラウンド・ザ・ワールド」は日曜日を除く毎日午後十二時から十二時五十分まで放送し、同じく夜七時から七時五十分まで再放送しており、両方を含めまして約三百万人の人達が毎日この番組を楽しんで下さり、関西汽船ではこの放送をテープに録音して、航行中に船内で乗客の皆さんに放送しています。

昨年四月に始まったこの番組も、この春で一年を迎えましたので、今月からは少し企画を変え、「ミュージック・アラウンド・ザ・ワールド」を日曜日の午後七時～七時五十分、土曜日は新たに「ラッキーズウィークエンド」として午後十二時から十二時五十分まで放送されています。

私はアメリカでの学生時代、音楽学部に着おき、大学には放送局がありましたのでディスク・ジョッキーなどを担当していたことがあります。ラジオにしてもテレビにしても、私はアナウンサーというものはエモーションよりもフィーリング

が大切で、個人の感情をあまり表には出さない方がいいんじゃないかと思っています。

ところで二十世紀文明が生んだ大都市にはたくさんの孤独な人達、特に若い孤独な人達がたくさんいます。神戸もその例外ではありません。音楽はそうした孤独な大人のなぐさみともなり、心の絆ともなります。神戸は大人も子供もいっしょになって音楽を楽しめる街です。まわりを見廻してごらん下さい。山、海、船、港、元町通りやセンター街、そして何よりもセンスのいい神戸っ子たち、これらすべてが「神戸」という街をつくりあげ、幅広い音楽をうけ入れる要素になっています。私はレコードを聴くと、たとえそれがどんな曲であっても何となく神戸にうまくマッチするのいつも感じます。

ここで大切なのは、音楽と私達の毎日の生活との結びつきです。私達が住んでいる環境、すなわち空気、水、海、浜辺、山、街路、それに生活状態を改善し、より住みよい神戸にすることが音楽を愛する私達「神戸っ子」にとって大切なことだと思っています。

物質的には豊かになり量的にはいろんなものも増えましたので、そろそろ私達の生活の質を高くするよう努めましょう。

(バルモア学院理事長／アナウンサー)



モース・斉藤氏

新学期・ご就職にそなえて



★ヨーロッパのトップモードの直輸入を服部メガネがオリジナルパターンに。

★豊富なストックで度付カラーレンズがすぐできます

★

顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

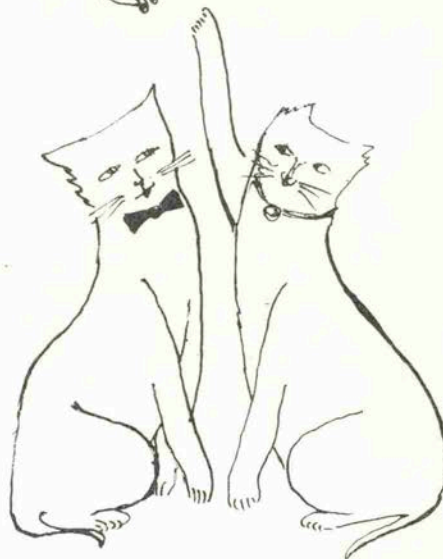
服部メガネ店

神戸・大丸前 TEL 33-1123

KOBE  SHIRT



夏もののシャツが
揃いました
ぜひ1度お立ちより
下さいませ

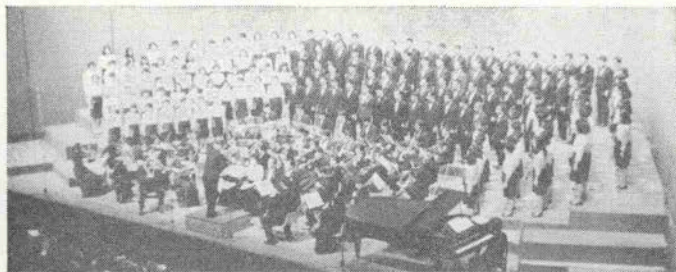


よろず御機衣縫上処

神戸シャツ

神戸店—神戸大丸前 33-2168
東京店—東急・日本橋店1階 211-0511内線219
東急・渋谷本店4階 462-3433
広島店—広島・福屋1階 47-6111内線333

神戸にオーケストラを



■出席者

小寺 巖

〈神戸国際会館顧問〉

横井 和子

〈ピアニスト〉

小杉 博英

〈大阪音楽大学エウフォニカ管弦楽団指揮者〉

中村 仁策

〈神戸中央合唱団指揮者〉

★神戸で真先にと希望する外来の音楽家が多かった

編集部 神戸の音楽といいますが、音楽ファンも多く、その土壌はあるようですが、神戸で良い音楽を聞く機会というのには少ないように思います。今までの神戸の音楽の歩みはどのようなものだったんでしょうか。

小寺 戦前は神戸での音楽界は非常に盛んでした。ことに外来の音楽家は神戸でまっ先にと希望してくる人があつたぐらいいだといわれています。それほど神戸は音楽の聴衆も多かったし質も高かったと思います。ところが戦後、段々東京、大阪が活発になり、あれだけの聴衆があつたのにこうなつたというのは、いろいろ問題もあると思いますが、会場がなくなつたのが原因じゃないでしょうか。そういう条件を満たすために、県、市、財界が神戸国際会館を作つたんですが、なかなか昔のようにには戻せなかつたんですね。数年前、京阪神三都市で一年間に開かれている音楽会の内、ほんとうに神戸に持つて来たい、神戸の文化の向上にも役立つという一流のものだけをとって統計的に調べてみたのですが、神戸で開かれている音楽公演の回数は大阪の3分の一、京都の半分という状態でした。労音、労演などの鑑賞団体を加えると、この差はもっと開いていた。

小杉 神戸に質の高い聴衆がいた、これは事実だと思うんですよ。それが今のお話のように会場がなかつたということ、神戸の人は良い音楽を聞くのは大阪へ行くんだ、という風に育てられてしまつたんですね。だから現在も神戸の音楽の水準が低いということは一つもないと思うんです。中村先生のやつてらっしゃる中央合唱団とか、土曜会、コーロ・ポルテニオ等、他の大阪や京都には育たない歴史のある合唱団が三つもある。この事から見ても、神戸の音楽の層の根強さが絶えていないと思います。横井先生は実際に演奏なさっていらしてどうでしょうか。



小寺 巖氏

横井 私共、長年の経験で申しまして、やはり大阪で演奏することが多いですね。神戸の方も大阪までお出かけ頂いているように思います。神戸に住んでおりましたらやっぱり、機会があれば神戸で演奏して聞いていただきたい、また大阪の方にも神戸に出て来ていただきたい、そういうことをいつも感じてまいりました。

中村 アマチュアの立場から申しますと、私共聞かせて頂く立場なんです、神戸には優秀な音楽家が非常に多いんですよ。それが三人の方おっしゃっておられましたように皆逃げられてしまう。入れ物がないのとそれを何とかバックアップする大きな、はっきりいうと市とか県とかが、国際都市といいながら理解がとぼしい。オーケストラ一つ育てようというというのが影響してるんですね

小寺 素地はあるんですが、神戸で活躍しにくい、とい



横井 和子さん

うことで大阪へ流れて行く。会場が少ないこと、それも中ホール、小ホールのないことが一番の障害ですね。
横井 千名前後のホールが、ピアノのリサイタルとか個々のリサイタルにほしいですね。余り大きいと動員の方も大変ですし、何しろ私共は演奏活動するの、孤軍奮闘でございましてね。他の国のようにはバックがございませんから。

★未来性のある(?) 日本の音楽

小寺 外国には沢山ありますね。パブリック施設という考え方で、あくまで文化の振興のためにということ建てられ、運営されています。日本のように商業主義でやっていこうという国は少ない。立派なパブリック・ホールあり、立派なパブリックオーケストラがありますからね。それと音楽の楽しみ方が違います。向こうでは生活に溶けこんでいますからね。日本では音楽にしろ芝居にしろ、お客は若い人ばかりでしょ。向うにいくと、おじいさん、おばあさんが手をつないで仲よく音楽を楽しんでる。それだけ日本は底が浅いというか……逆に、若い人ばかりだからこそ、日本の音楽は未来性があるんだという人もいますけれど(笑)結婚したらもう音楽界へ行かないというのが、日本では現実ですね。(笑)

横井 今、政治の中心になっていらっしやるご年配の方からはご趣味が違います。難しい時期ですね。

小寺 確かに今の指導的立場に立っている人たちが育った時代は、どれほど音楽や演劇が盛んであったか、又音楽や演劇が社会にどのように受け入れられていたか、考えますと、現代とは雲泥の差でしょ。しかもそういう方々が今の若い人たちが音楽や演劇をどういう風に楽しみ受けいれているかを見ようとしていない。そこに断層があるんじゃないかと思えますね。

編集部 他都市の例はどうですか。

小寺 京都の例は加えて市のオーケストラ

★十年前に生まれた神戸フィルハーモニーの動き



小杉 博英氏

を持っています。毎月定期演奏会やってもいつも若い人たちが集って来る。その他京阪神の音楽教室的な演奏会も沢山やっています。現状では大阪と余り変りがないんじゃないでしょうか。

小寺 京都は市が今のオーケストラ持ってるし、大小二つのホールをもつ立派な京都会館を建てましたね。二千四百と千二百ですか。これが非常役立ってますね。そこに京都府が去年、京都府文化芸術会館というのを建てましたが僅か四百席です。本当に芸術を鑑賞するには四百席以下じゃないといけないというのが蜷川知事の抱負でして、大きな赤字を覚悟で建てられました。先日、坂井知事にお会いして神戸は優秀な音楽の人材がいるのに、大阪や京都へ逃げてしまっただと話ししますと、県庁西庁舎の地下の小ホールを開放しようといったださいました。



中村 仁策氏

編集部 最近になりました、市の方も市民ホールの動きが本格化し、入れ物の方は漸く実現の見通しがたちましたが、本当の意味の文化の中心になるには中味がいるわけです。その意味でも、神戸フィルハーモニーを作ろうという動きがあることを小杉先生の方から伺いまして、ぜひ実現して頂きたいと思うのですが、そのいきさつはどういうものだったんでしょうか

小杉 約十年前、小寺先生が国際会館の常務取締役をなさっている時に、第三回市民劇場公演の際、三合唱団と合同でやって、その中で、神戸交響楽団と名付けたデビューの紹介を兼ねた演奏をしました。市の方にも話しを掛けて、小寺先生にもいろいろ尽力を頂いたのですが、そのまま何となしに立ち消えになって、かれこれ十年たっていました。それが去年の五月に、宮崎市長からオーケストラのことについて話しがしてみたいというお声がございましたところ、今のお話のように中央公会堂の建設に合わせて、オーケストラを設置したいお考えのようだと察しまして、メンバーのこと、活動のことなどいろいろくわしいお話ししまして、今予算案を出してあるところなのです。

これは神戸の三合唱団の伴奏など大変親しくおつきあいしていますエウフォニカ楽団を主体として、仮称「神戸フィルハーモニー・オーケストラ」ということとお願いしているわけです。再三再四、神戸にオーケストラを、という話が出て、何か消えてしまいうのが実情でしたが、今回は市長さんの深いご理解と皆様のご協力で見える日が近いんじゃないかと思っております。

小寺 現在神戸でオーケストラを作ろうという動きが二種類、三団体があるんですが、その内の一つが、小杉さんのおっしゃったもので、いま音楽家として活躍されている方が集まって、プロのオーケストラを作ろうという動

きです。それを小杉さんは市に働きかけて、市有のオーケストラにしようとしていらっしゃる。

もう一つはアマチュア文化活動としてのオーケストラです。それに二つ団体がありますが、新聞にも出ましたが、岸井祐史さんたちの「神戸交響楽団」もう一つが潮崎満、小林博史さんたちの「神戸コンサート・オーケストラ」この二つは付近の音楽大学を新しく卒業したあるいは在学中の若い人たちが中心になったアマチュアオーケストラなんです。

横井 私はくわしくは存じませんでしたが、アマチュアの方々の楽団は必要だし伸ばしていくべきものだと思います、まず形として、京都市や大阪市が持っているような楽団が神戸にもあることが望ましいと思ってまいりましたのですけれど……。

★いや交響楽です！

中村 話ちょっと別になりますが、前NHKのテレビで、高知県の土讃線の終点の中村という小さな町に、管弦楽団があると聞いたんです。私この前足摺へちょっと遊びに行った時に向うでタクシー乗りまして「こんな田舎に管弦楽あるそうやないか」と聞きましたら、タクシーの連ちゃん、誇らし気に「いや、交響楽ですよ！」（笑）旅館へ行ってよく聞きましたら、なかなか立派なものです。私はハモニカ吹いて器楽合奏ぐらいいに思っていました。（笑）何の二管編成の、足らん時には高知から呼んできて三管編成ぐらいいの立派なものです。恥ずかしくなったりして（笑）

横井 音楽では一番基になりますね、オーケストラが。小杉 山の方から神戸を見て、この都市にオーケストラがないなんて信じられますか？京阪神の神にだけオーケストラがないのを、今回は公会堂の建設にも合わせて何とか育てたい、是が非でも実現が見たいというのが僕の切なる願いなんです。

横井 これは専門にやってるもののお願いといえますよ、もっと高い立場から眺めた場合、神戸全体の文化の原動力にもなると思うんです。普通の音楽にさほど関心のない方でも、神戸市に交響楽団がある、そして安い料金で聞きにいけるとなると、そこからまた音楽人口が育ってきますし、若い人から年寄りまで心の潤いになります。測り知れない力になると思います。

中村 私、アマチュアの立場からいいますと、ちょっと大きなものをしようと思いますと、大阪音楽大学の学生さんをお願いしてやっておりましたが、十年程前に、先程お話しに出ました神戸市民劇場公演の時に、その時のオーケストラのコンサート・マスターが小杉さんで、私、プロのオーケストラでやったことがなかったものでこわごわでね（笑）でも私らのようなものでも非常に協力的にいろいろ教えて頂いて、それ以来、谷藤雅也さん（エウフォニカ楽団指揮者）をお願いして、毎年伴奏をお願いしてありますが、つくづく神戸市のオーケストラの必要性を切実に感じますね。

小寺 しかしアマチュアの合唱団などが一緒になってやれるオーケストラがあるということはこの地の音楽振興に非常に良いことです。

横井 楽しいですからね、オーケストラを合わすってことは。本当に生がいを感じますからね。若い音楽家を育てる意味でも、オーケストラがどんどんそういう機会を提供して下されば。

小寺 いま、音楽大学で器楽をやっている人は皆、合奏活動を希望しますね。やりたくてたまらないんだ。合奏ってのは実に楽しいものらしいですね。

★何より何より練習場がほしい

小寺 アマチュアのオーケストラを育てるのには練習場を提供するのが一番の先決問題です。

それからオーケストラ活動というのは、やっぱり若干

金をくいやすから、援助してやる必要がありますが、文化活動だからといって県や市におんぶしすぎる姿勢はよろしくないと思います。経費のかさむものは手伝ってやるという程度で育っていくものがありますからね。たとえばオーケストラ活動では、練習会場に大型楽器を据えつける、それから楽譜に金がかかるので少くとも一定のスタンダード・ナンバーの楽譜をそろえるということをするれば、アマチュアのオーケストラ活動は目に見えて活発になると思います。

それから、プロの方は、小杉さんが市に熱心に働きかけておられますが、むやみに金をくうものであれば、市としても手を伸べにくいでしょうから、適当な方向、適当な規模でやりになるのが良いんじゃないでしょうか。京響ですらスタートの時には二管編成でしたからね。それがあそこまで発展したんですから。

小杉 おっしゃるとおりですね。今回お話ししてるのもギリギリの二管編成。定期演奏会をやる時には三〇〜四〇名のエキストラを入れて、最初はそれでやっていきたいと思います。市長さんのお考えも、今小寺さんのご意見と殆ど同じなんです。

というのは市だけいくらきばってみても、これはそうできるもんじゃない。できるだけ広い分野のご援助や賛同がなければ難しいということでしたので、目下細々ながら、いろんな分野の方々にご協力をお願いに上ってる場所なんです。市にまるまるおんぶするという考えは、私は毛頭持っておりませんし、また、そうあるべきものでもないと思います。

横井 大阪や神戸に行ったら京都の聴衆が育つまでの段階、こちらに振り向かせるまではことに皆が力を合わせていかなければなりませんね。

小杉 それまでは県下の高校、中学、小学校へ音楽教室としてオーケストラを提供して、こちらが出かけていった聞いて頂く、それによって市民に親しみをもってもらう。市のオーケストラとしてのご理解と音楽教育の向上

これを行うのが私共オーケストラの過半の使命だと思っています。大きくなった場合は、良い音楽を毎月定期演奏会やりたいんですが、それも金がかかることです。定期演奏会を三〜四回にとどめて指揮者を固定せず、日本のいろんな良い指揮者の方を毎回変わった形で来てもらって、変わった音楽を聞いて頂きたいと思っています。

中村 中央公会堂も敷地が狭いので、会議場はあるが、練習場はないと聞いています。大きな楽器など出し入れすると、会議場としてきれいに使用するには具合悪いでしょうし、練習場専属がほしいですね。

編集部 練習場と言葉でいえば簡単ですが、これが一番大事で、音楽ばかりでなし演劇にしても何でも一番基礎になるものですからね。

小杉 練習場として別個のものがほしいですね。夜は合唱団が昼はオーケストラが使えるような。

横井 鳴りもの入りで建てられるのに、練習場がないというのでは、とってもそんなことではすみませんね。音楽会場できる前に、練習会場がいります。

小寺 練習場は一カ所では到底足りません。神戸だけで考えても数カ所必要です。

一般のアマチュア文化活動は夜です。仕事を終えてかけつけるわけで、一週間でわりふりしたとしたりととてもとても。合唱団だけでも二、三カ所いるでしょう。それに学生のクラブ活動も練習場がなくて困っている現状です。もしそういうものを作ったら申し込みが殺到するでしょう。それだけアマチュア文化活動が練習場を渴望している訳です。どれだけアマチュア文化活動を貴重だと考えるかということです。それが根本ですね。

〈オリエンタルホテルにて・文責編集部〉

☆ ☆

☆ ☆

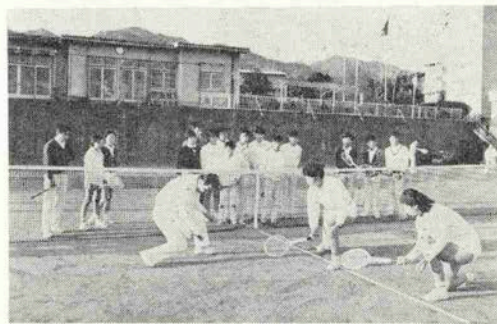
神戸ローンテニスクラブの歴史は四十六年前にさかのぼる。大正十五年十月三十一日、当時の神戸市長黒瀬弘氏を会長に、財界名士の肝入りで、いまの川崎病院のある兵庫区会下山下に誕生、その後大石川に、さらに昭和三十六年から現在の王子コートに移転した。戦中戦後といろろ苦難な時代も

なっている。

こうしたクラブの発展のなかで、数多くの優秀選手、名プレイヤーを輩出、昭和四十二年には、その功により県下最高の兵庫県スポーツ賞を受賞したのだが、クラブそのものとしては、「テニスを楽しむところ」という認識が會員の考えの中心だった。

ある集いその足あと * 神戸ローンテニスクラブ 吉田 稔

〈神戸ローンテニスクラブマネージャー〉



だが最近、わが国庭球界の向上に資するという大きな使命にもえる当クラブとして

は、後進育成の問題と真剣にとり組むことが必要になってきた。諸外国では立派なプロコ

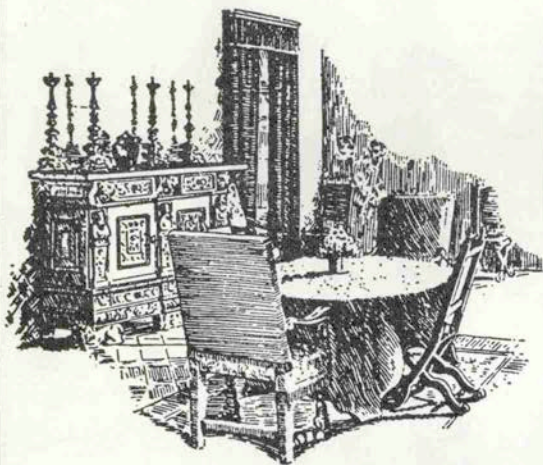
あったが、よく風雪にたえ家族的でだれもが親しめるクラブとして、年々発展を続けてきた。かつては、平均年齢四十五才以上というロートルクラブだったこともあるが、テニス人口の増加から若いプレイヤーもふえ、いまでは平均年齢も二十代と若がり、老若一体の仲の良さが売りものに

い、チによって、クラブで優秀な選手を続々養成しており、そうした外国のヤングパワーに対抗するためには、ここで日本の新人養成に大ナタを振るわなければならないわけで、デ杯に勝つこともむなし夢に終わる可能性がある。

いま世界の沢松として大活躍の沢松順子、和子姉妹にしても、ク

ラブや家庭でマンツーマン方式で育てられた選手だが、彼女たちのようにあらゆる条件に恵まれたものはいわめて少ない。そこで、特定の少数を対象にするより、範囲を拡大し広く熱意のある若ものを集め、テニス練習を通じて心身ともに立派なプレイヤーと人材を養成しようといふ足したのがこのジュニアクラブなのである。幸いクラブにはプロコチこそいないが、元デ杯選手の柴田善久氏、国体連続十回優勝全日本壮年二位でテニスの校長さんで有名な森西正男氏、かつて全日本で活躍した工藤善一郎、松田城作の両氏らが意欲をもってその指導を約して下さり、又森西のパートナーとして国体三回優勝全日本にも活躍された宮村研氏が本業の医師として保健を担当して頂いたことも心丈夫な事である。その他数多くの人達の好意と理解により「成長期にある幼少者に対し、クラブライフ及びテニス練習を通じて、強じんな身体と精神、節度ある生活態度、集団生活に適応し得る資質、健全な思想を体得せしめ将来有為な人材を育成する」という目的に一步をふみだしたのは喜ばしい事である。クラーク博士の言葉ではないが「ボーイズ・ビー・アンビシャス」続けノ柴田、沢松姉妹に!!

家具・室内装飾・工芸品



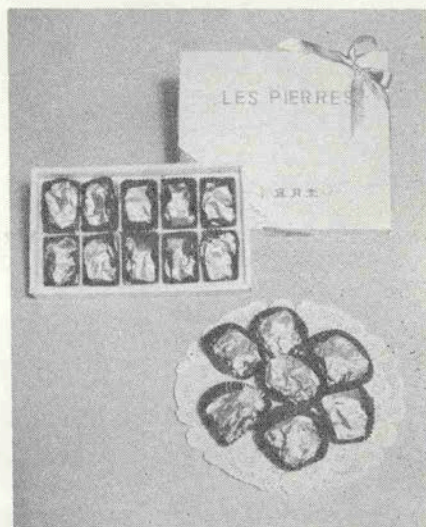
永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目大丸前TEL神戸(39)3737(代表)
 東京店・東急百貨店 日本橋店内1階TEL 03 (211) 0511
 本店(渋谷)7階TEL 03 (462) 3180
 工場 神戸市垂水区多聞町小束山975-35
 神戸木工センター TEL (078) 706-5005(代)

LES PIERRES

ラ・ピエール

チョコレートにくるまれた
 ご気嫌なマロングラッセ
 小さな岩に形どって
 ロマンティックな風情をあなたに…。



神戸にそだって 70年



風月堂

元町3丁目 TEL(39)2412~5
 さんちカスイーツタウンTEL(39)3455

Fachrein's



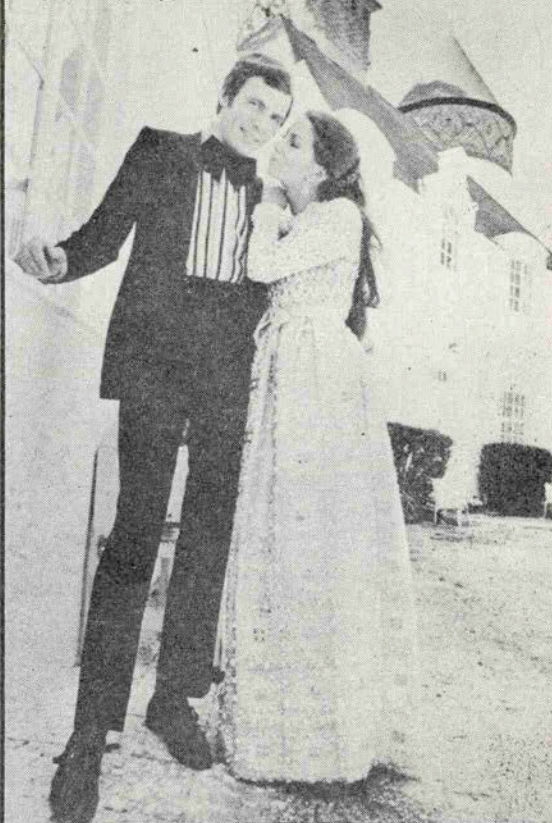
ウエディングケーキ=Wedding Cake
結婚式のすばらしい脇役、ユーハイムのウエディングケーキは、憂快なタッチと清純なデザインで好評をいただいております。

3,000円よりご相談させていただきます。

ドイツ菓子 ユーハイム

本店	三宮生田神社前
	TEL (078) 33-1694
三宮店	三宮大丸前市電筋
	TEL (078) 33-2101
さんちか店	三宮地下街スイーツタウン
	TEL (078) 39-3539

新しい春はソワティなあなた



O-SHIBATA

柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 神戸 34-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106